



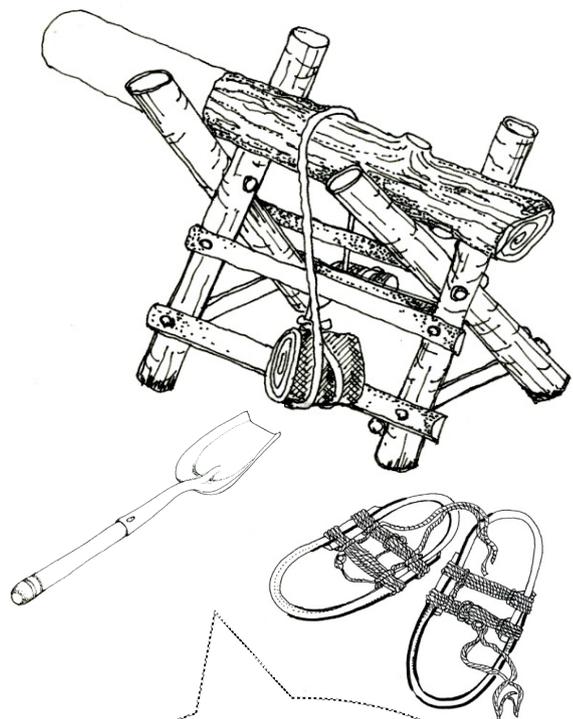
みなさん、こんにちは

前回のレポートをお届けしてから3ヶ月。
たった3ヶ月前ですが、残暑が厳しいと書いていたのがウソのように、外の景色は真っ白にかわっています。例年よりも早い根雪になりました。

12月議会は2日間で行われました。
議会の終わったあとの日曜日には国政選挙がありました。
投票率が全国的に低かったようですが、斜里町も同様だったと聞いています。
投票は私たち国民に与えられている権利です。
この数字を見て、少し残念な気持ちでした。

今回の議会では、新しい図書館の設計費、20床増設とする特別養護老人施設の調査設計費が決まりました。
また、自治基本条例が制定されました。
他にも、11月と12月の気象災害によって被害を受けた道路などの修復にかかった予算などについて議決されました。

こんなこと、あんなことなど、町のさまざまな問題、課題、良い所、期待などについて、報告交えてお知らせします。



我が家では、28年間ずっと薪ストーブで暖をとっています。
丸太をチェンソーで輪切りにして、割って積んで使っています。
でも、チェンソーのないころはこうして薪台を作って切っていたそうです。そういう話を聞かせてくれる人、大事にしたいと思います

10月16日・臨時議会がありました。

・「総合計画」町の全体の計画を、町のみなさんが参加して策定して行くことになりました。
その方法、時間、組織の内容についていくつかの質問がありました。

大切なのはこれまでの計画がどうだったのか？を、みなさんが話し合うこと、状況を一緒に確認することが大切だと思います。こうした検証はしっかり全町民にも公開すべきだと思います。

その上で、今までの計画を変更する、あるいはもっと発展させる、付加価値を付け加える、新しい事業を組み込む、という作業になると思います。

全く、新しい計画を作りあげる訳ではないので、時間的には大丈夫ではないかと私は思います。

でも、新しい視点や事業がたくさん議論された時は、予定以上に時間が必要になるかもしれませんね。

「行政主導」とならないように、町の人たちの意見をどう組み入れて行くのか？その整理が大切です。

・「朝日町に建設される公営住宅」の工事契約が結ばれました。

今年は、A棟とB棟の合計12戸で約1億6千万円、電気設備や道路整備全体で約2億円になります。来年度にはC・D・E棟の6戸の建設が予定されています。町の公的建物全体に言えることですが、建ててからのメンテナンスの充実を図り長く使えるものにしてほしいです。



今回の議会では、こんなことが・・・の2日間でした。

議会では、一般質問以外は何でも質問できる訳ではありません。予算に関する事柄の質問が基本です。

*** 介護施設は建設されても・・・働く人が足りない！かもしれない。**

新しく20床増設する施設の調査設計費約2000万円の予算に関連して、介護の資格を持つ人の働き手が足りないことが、斜里福祉会の大きな問題です。でも、介護職員の不足は介護に関わる事業者すべての大きな問題です。「福祉会に人件費も助成しては？」という意見もありましたが、私は、事業者全体の問題ですから、もっと、斜里町全体の中で介護の資格を持つ人の確保、育成することが必要だと思います。そのために、町が資格取得のために講習費を助成したり、資格を持つ人たちのネットワークを作ったり、働きやすい環境のサポートに力を入れることが必要だと思います。そうしたことは、これからの高齢化社会に向けたまちづくりにつながると思います。同時にそれは、斜里町の貴重な人材資源の確保につながります。



*** 新しい図書館の面積だけど・・・せめて1500㎡前後は必要じゃないかな？**

「新図書館のありかた」の中では、「図書館協議会から出された1500㎡が少なくとも必要～それらを上回る規模を検討」と、書かれていましたが、示してきた数字は1400㎡でした。町の身の丈にあった規模の認識は必要ですが、求められる機能や利用形態について考えると、もう少し余裕を持ちたいと思いました。「予算が～」と言いますが、面積だけではなく、トータルな節約的な設計は求められると思うのです。1400程度という記載でしたが、場合によっては柔軟な対応が必要だと思います。本の自動貸出機についても、しっかりとした対応が出来る斜里町の図書館です。私は必要ないと思います。



*** 大規模改修、図書館の建設・・・中学校の学習環境は大丈夫？**

中学校の大規模改修工事が続いています。同時に図書館建築も始まります。仮設事務所を移転したり、工事の日程を調節すれば大丈夫とのことですが、中学生の学習環境に負荷をかけないか心配です。また、グラウンドの整備も行われます。生徒にとっては常にベストの環境を作らなければならないはずですが、重なってしまう行程に、少し心配です。

*** ほっとメール@しゃり・・・町民のためにもっと情報を伝えてほしい！**

気象に関するメールはどうしてあんなに長い長～い、関係ない情報まで入ってくるのだろう。道路の冠水、通行止め、土砂崩れの警戒、大雨に関する被害情報、警戒情報がどうして町から発信されないのだろう？停電の情報だって同じ。斜里町民のために即応性のある情報発信のツールだったはず。設置にも、年間の管理にもお金がかかっています。防災対応では日頃からの情報発信、受信のやり取りの必要も言われています。活用されているとは思えないです。情報発信はこれだけではないけれど、現在斜里町の即応ツールではこれだけです。登録していない人にだって、受けた人は発信できます。混乱が・・・と言いますが、日頃からの対応です。

*** 峰浜のふるさと留学が閉校とともに終わってしまうけれど、移住者対応にシフトできないのだろうか？**

とても長い間続いてきたふるさと留学。斜里町に移住するきっかけになった人も多いと聞きます。これまでの取り組みを、移住の促進という事業に移行してはどうだろう。斜里町の移住促進はあまり動いていないと思う。むしろ、消極的（と、他町の移住者から聞きます）。人口減少の中、一度、しっかり考えてはどうかなど。





12月議会の一般質問



1・保育所の未満時受け入れ人数は少なすぎませんか？

今年も、昨年も子供がまだ小さなお母さんたちから、保育所に子供を預かって働きたい、働かなければならないのに、受け入れてもらえなかった、という声をたくさん聞きました。中には、審査の結果を受けて断られた結果、生活も困窮した中で、「受け入れてもらえなかった」という言わば、落とされた、ということから気持ちを思い実家に帰ってしまったという人も居ました。原因は一つだけではありませんが、子育てをしながら働かなくてはならない人は、以前よりも多いのが現状です。

町も、未満時の託児希望は多くなっていると思うと言っています。女性が働くことはもっと求められます。介護の場でも町の中で人材確保が必要となります。

もっと、町は積極的に託児の受け入れを増やすべきだと思います。保育所の定期職員の人数に居合わせたの保育ではなく、求められる託児の環境を整備することが、現在の町の役割です。

設置上の原則などはあるでしょうが、ぜひ、受け入れられる定員を増やす努力をしてほしいです。



「申し込むのが恐くなったの・・・」そう言うお母さんがいました。様々な事情で託児をお願いする人にとって未満時保育の入所のハードルは高すぎます。園児募集が始まっています。地域全体の雇用確保、人材確保にもつながる問題です。

2・ウトロの雇用促進住宅を斜里町が購入。今後の予定と利用の方法などは？

ウトロの公営住宅は現在の古い建物を取り壊して整理して行きます。ウトロでは若い人たちの就労が増えています。子供の数も減ってはいません。住宅の確保は大切な問題です。雇用促進住宅を購入する費用と、最低限のリフォームを行う予算を予定しているそうです。現在入居の人たちも、現状の条件で入居は継続になるそうです。お家賃も継続になるだろうとの回答でしたが、雇用促進住宅を購入してお家賃もそのままという所は聞いたことがありません。

ウトロの現状、雇用促進住宅の特性を考慮した家賃設定のもと、町の住宅としてふさわしい、実情にそった利用を検討すべきだと思います。



ウトロでは若い人たち、若い家族の就労が増えています。雇用促進住宅は5階建て。他の自治体では、階層ごとに家賃金額を変えたり、一階は高齢者対応にと、その地域に沿った形をとっています。買い取った住宅が町に取って有益な利用の検討をしてほしいです。

3・学力向上対策の成果とこれからの取り組みと課題は？

毎年、全国で学力テストが実施されるようになりました。その結果、北海道は全国平均よりも低い点数だと言うことで、今年度も結果が公表され、やはり平均よりも低い結果が出されました。斜里町では支援員を学校に配置して丁寧な個別対応を実施、研修会等を企画参加して対応につとめていますが、その成果についてはどうなのか聞きました。

教育長は即効性のある事業ではないので判断は難しいとしながらも、これからも基礎学力向上のために学校と家庭、そして教育委員会が連携を取りながら対応を継続して行くことが、ただ、点数だけの結果の評価ではなく子供の教育環境全体に必要なことだと回答をもらいました。学力という面だけでなく全体的な繋がりを意識しながら推進すべきだと思います。

ただ、数値的な結果を求めるのではなく、基礎学力の向上が、子供たち自身の生きる力、あるいは学びの場を楽しめる、そんな環境を求める対応が必要です。学校と家庭、そして児童福祉全体のつながりがますます必要になります。



他にも、こんな関係のこと議会で話しました。全員協議会で

第4次行政改革実施計画・・・

たとえば職員定数の部分では、今年度末でたくさんの方が定年退職されますが、職員の年齢構成には少し偏りがあります。定年退職の職員を再任用という形で後輩の指導的立場でサポートしてもらおうようなことは出来ないものでしょうかね。保育所の定期職員も減らす目標がありますが、職員の数の都合でサービスや事業の本旨が左右されないようにすべきです。

観光基本計画の骨子（素案）・・・

基本計画は3月までに作成したいと言うことですが、今回示された内容を見ると、これから計画策定に入っていくにはあまりにも議論やコンセンサスの取り方が出来ていないように思えました。

せっかく作る計画ですから、もっと連携を大切にしてほしいと思いました。

骨子というにはもう少し、精査と全体的な整合性などが必要だと思います。

橋梁の超寿命化計画・・・

町が管理する橋の強度などをしっかり調べて、長期的に補修や管理の計画を立てて行きます。これって、大切なこと。今あるものを大事に使って行きましょう！

8月4日

8月4日が橋の日って知っていましたか？劣化による事故など内容に計画的な補修を！



議会中継 メール・電話・会話から

- ・ 音声がいかがなり聞こえれば良いと思う。
- ・ 休憩になるときにブツンと切れるのが不自然。
- ・ 全員協議会も中継してほしい、中継すべき。
- ・ 公開しているという姿勢を評価します。



9月議会の中継にアクセスして来た人、あるいは録画を見てくれた人、私の感想は「思ったよりも多い」と思いました。傍聴に来てくれる人が減るのではないかと、と言われる議員もいましたが、関心を持つ議案の内容と質疑が確認できる環境を作ったことは、大きな前進だと思います。これからも、ネット中継を見ることの出来る環境の方は、ご覧になった感想を聞かせてください。

議会の議事録は
ホームページで読めますよ！

録音しているものを、そのまま文章に起こしています。定例議会が終わってから次の議会の約2週間くらい前までにホームページに掲載されます。

みなさん、よろしかったら読んでみてください。

何名かの方から、問い合わせがありました。一日分がつながっていて、読みにくい、という声です。

確かに・・・あの件はどこだったかな、と探すのに大変かもしれませんね。

* ここでお知らせできること以外にもたくさんいろいろなことがあります。どんなことでもけっこうですので、お電話などいただければと思います。 お気軽にどうぞ！

☀☀☀☀ご意見を お寄せください☀☀☀☀

ツイッターやフェイスブックをやっています。興味のある方は、是非、参加してみてください。いろんな考え方があって楽しいですよ。*メールを送って戴くときにはお名前、連絡先を書いてください。お願いします。



いろいろな形で議会も私も情報発信しています。みなさん、見てください、聞いてください！



- ホームページみてください。 <http://akemichan.net/>
 - ブログ 「ふつう」の生活から <http://akemiburogu.sblo.jp/>
- 「桜井あけみ後援会」099-4351 斜里町ウトロ香川104

桜井あけみ 議会レポート

コメントを待っています。

メールは koe@akemichan.net へ